

今月の原因究明テスト実施状況 (2004年6月分)

2004（平成16）年6月の原因究明テストの受入件数は5件であり、すべて消費生活センターおよび行政機関から依頼のものである。商品分類別の内訳は、住居品2件、保健衛生品3件である。今年度の受入件数の累計は12件となった。

テストを実施し回答した件数は6件であり、すべて消費生活センターおよび行政機関から依頼のものである。商品分類別の内訳は、住居品1件、保健衛生品1件、車両・乗り物3件、土地・建物・設備1件である。今年度の実施件数の累計は10件となった。

テスト受入件数（（ ）内は年度累計件数）

商品分類 分類	食料品	住居品	光熱水品	被服品	保 健 衛生品	教 養 娯楽品	車両・ 乗り物	土地・建 物・設備	計
国民生活センター	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)
消費生活センター および行政機関	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (4)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	3 (9)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (6)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	5 (12)

テスト受入商品等

商品名	件数	苦情の内容
ホットカーペット	1	幼児をホットカーペットの上に敷いた布団に寝かせていたら熱射病になった。
オゾン発生器	1	オゾン発生器を使って飲み水を殺菌して使用しているが、殺菌されているように思えない。
浄水器	1	半年位使い続けていると、蛇口シャワーの表面にピンク色のものが付着する。
マスク	1	マスク装着前に臭いがきつかった。また、マスクをつけたら目、口に刺激があり、息を吸い込んだら口の中が苦くひりひりした。
熱さまし用のジェル状シート	1	熱さまし用のジェル状シートを乳児の額、脇の下に貼り、5分ほど離れ、戻ったところ、乳児の鼻と口をシートがふさぐように覆ってしまい窒息した。

テスト実施件数（（ ）内は年度累計件数）

商品分類 分類	食料品	住居品	光熱水品	被服品	保 健 衛生品	教 養 娯楽品	車両・ 乗り物	土地・建 物・設備	計
国民生活センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
消費生活センター および行政機関	0 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	0 (0)	3 (4)	1 (1)	6 (11)
その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	0 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	0 (0)	3 (4)	1 (1)	6 (11)

テスト結果の概要

受入月	商品名	経緯及びテスト依頼内容	テスト結果の概要
' 04/05	メガネ	耳の付け根に裂傷を負ったのは、メガネフレームが原因ではないかと疑われる。メガネフレームの鋭利さについて調べてほしい。	耳にかかる部分はどの箇所も滑らかであった。しかし、フレームの内側の一部にメッキの剥がれた部分があり、ざらざらしていた。この部分の鋭利さは S T 基準を参考にする問題はなかったものの、皮膚と接触する可能性があった。なお、メッキが剥がれた要因としては使用過程における汗や皮脂などが考えられる。
' 04/02	ハロゲンヒーター	ハロゲンヒーターを点けていたら、突然音がして破片が飛び、床を焦がした。原因を調べてほしい。	苦情品そのものの入手ができなかったため、破裂の箇所や状態を確認することが不可能であった。そのため、同型品についてランプが破裂する要因と思われる種々のテストを実施したが、再現には至らなかった。
' 04/02	電動アシスト自転車	電気自転車の後部荷台に補助椅子を取り付け、子供を乗せて走行中、自転車のフレームと荷台を固定するボルトが破損し、荷台が外れて子供が落ちた。ボルトの破損原因を調べてほしい。	破断面の観察結果から、繰り返し荷重により疲労破断したものと推測された。苦情品の取扱説明書には、リヤキャリアに積載できる荷物は10kgまでとの記載があった。JISではクラス10（許容積載量10kg）は「軽量荷物の積載専用で、幼児を載せてはならないキャリア」としている。従って、苦情品に幼児座席を取り付けることは不適当と言える。なお、JISでは取扱説明書に幼児座席の取り付けの可否を挙げているが、苦情品の取扱説明書には記載されていなかった。
' 04/05	普通自動車	高速道路を走行中に左に流れてしまい危険だったが、メーカーでバランスが悪いことを認め修理した。しかし、未だに、左に傾くような気がして、高速道路を走行できない。問題がないか調べてほしい。	4 輪アライメントを測定したところ、複数箇所ですり減り範囲に収まっていなかった。いずれの数値も直進時に車両が右に流れる傾向となるものであった。ただし、すり減り範囲に収めるようにすると、左に流れる傾向が強まると考えられる。モニターにより走行テストをしたところ、若干の車両の流れを指摘するモニターがいたものの極端な流れは確認できなかった。ただし、一般の道路では路肩に向かって傾斜する傾向が強いところもあるので、左への流れが強くなる可能性がある。
' 04/04	ユニットバスの手すり	浴室の壁に設置された手すりの固定ネジが折れて転倒し、頭を打った。固定ネジが折れた原因を調べてほしい。	手すり棒の固定ネジは、10年以上にわたる繰り返し荷重により疲労破壊したものと考えられる。
' 04/05	折りたたみ式自転車のハンドル部	折りたたみ式自転車のハンドル部の組み立てが、取扱説明書どおりにしても奥まで挿し込むことができなかった。代替品も同様であり、危険を感じて乗れないので原因を調べてほしい。	JIS規格を参照すると、苦情品のハンドルの内径は大きく、ホークシステムの内径は狭かった。ハンドルシステムがホークシステムに正常に差し込めなかった原因は、ハンドルシステムとホークシステムの隙間が不足したためと判断される。

<title>今月の原因究明テスト実施状況（2004年6月分）</title>